

ふるさとの鼓動
北に生きる心
むすんで

=ホームページにカラー版を掲載中!=

こぶし

第 141 号

発行責任者：横井 正人

特定非営利活動法人 民族歌舞団 こぶし座

TEL:0138-54-2859 FAX:0138-84-8207

E-mail:kobusiza@wing.ocn.ne.jp

2015年 1月1日発行

編集：機関紙局

北海道函館市陣川町 122-172

年 2 回発行

http://www.18.ocn.ne.jp/~kobusiza/

主な内容

- (1) 新年のごあいさつ
- (2) 一般公演の取組みほか
- (3) 旅のスケッチ
- (4) 公演日程(1～3月)

謹賀新年

本年もどうぞよろしくお願い致します

二〇一五年 元旦

特定非営利活動法人(NPO法人)

民族歌舞団こぶし座社員一同



(金城公雄・絵)

理事長 横井正人 (座員)

理事 中尾雄児 (座員)

理事 計良 徹 (座員)

監事 金城公雄

計良正子 (座員)

横井ひとみ (座員)

松岡智恵美 (座員)

村田さつき (座員)

岩島 司

岡部幸人

梶原康男

西東英範

志賀松 晋

志賀松智恵美

橋本かおり

馬場 雅

古川喜美子

新年のごあいさつ

理事長 横井正人

新年あけましておめでとうございます。

昨年賜りましたご支援に心からお礼申し上げます。

今年三月、こぶし座は50回目の創立記念日を迎えます。

『生きる喜び・働く誇り・明日への夢』をさまざまな人の想いをおりこんで、民族芸能を通して多くの方々と言語合ってきた、私たち"こぶし座"の50年間…。

この歴史を共に紡ぎあってきた人々の営みは、半世紀を経て
もなお、希望あるものとなるどころか、全く逆の方向へと
加速度を増しながら突き進んでいるようです。

「この道しかない」―続編がが始まるうとする今…、
病んでいる私たち自身の暮らし向きを根本から見つめ正して
『ふるさとの鼓動 北に生きる心結んで』を更なる合言葉に
掲げ、人間らしく生き続ける道を、皆さんと共に太く確かな
ものに築き上げていかなくてはならないと思っています。

私自身、40年前の入座以来「この道がある」と歩み続けて
きた生き方を、今改めて貫き通す時が来たと言っています。

盛夏の8月、これまでのお礼を「記念公演」として、
感謝の気持ちをお届けしたいと考えております。

最後に、今年も皆さんへの一層のお力添えをお願いして、
新年のごあいさつと致します。

一般公演の取組みから

昨年の後半期(秋〜冬)は、地元・函館を始め

全道9カ所(2市7町)で開催できました。

苦勞を交らせた熱い取組みの数々…。その中から、乙部町・弟子屈町の取組みを紹介します。

人と人との輪が

広がった

「こぶし座」公演

乙部町・西信乃

11月19日の「こぶし座」乙部公演を一人でも多くの方に観ていただくための行動を開始したのは公演の二カ月前くらいです。

まずは、実行委員長のお願いです。老人クラブや自治会の会長を担っている多忙な方ですが訪ねてみました。「体調も良くないので、仕事を少しずつ片づけたいと思っていますし、こぶし座の公演も観たことないんだ。」と言いなながらも快諾してくださいました。

次は実行委員のお願いです。5年前の公演の資料を手掛かりに準備会で声をかけて歩きました。「親の介護があるので観に行けないけど声をかけてみるよ。」「仕事の都合で実行委員会に参加できないけど協力するよ。」「私が実行

う実行委員長。話しているうちに緊張が笑顔になり、ほんの少し高い目標をたてて解散です。

*

「こぶし座」公演の取組みを紹介します。その中から、委員会に行けない時は娘が行ってもいいですか。」(母娘でピアノ講師)ポスターを貼っていただくのに商店街に向くと「こぶし座の公演は久しぶりだね。」「私、こういうの好きなんだわ。」と早速チケットを買ってくれた人。「前売り券ありますよ。」と書いてくれた方がいよね。」と言ってくれる人。皆さんの一言一言で心が温かくなり、元気が湧いてくるようでした。

実行委員会は五回開きました。目標に中々届かず少し緊張した時間が流れる中も、実行委員長の人生経験(生き様)や取り組み等の話しに花が咲きます。

配券した二日後には「10枚売れたので、後10枚下さい。」と頼りになる60代の実行委員。こぶし座のビデオを観ながら「私も小学校の時踊ったわ。」とピアノ講師の娘さん。「老人会は行事等で出費もかさむので誘いにくいな。」と言いながら20枚も売ってしま



会場を埋め尽くす大勢の観客。感動!!

*

「こぶし座」を真ん中に人と人との輪が広がり、そこに流れる優しいさや心地良さを実感できる取り組みでした。

感動の一日を
ありがとうございます
弟子屈町・水本和子

2014年12月4日、ついにこの日がきた。こぶし座弟子屈町の公演である。チケットは278枚売れたが、夕方からだんだん寒くなり、どの位の人達がくるのか。私の売った人達はきてくれるのか…。時間と共に気分が高まってきます。

開演1時間前から、どんな人が集まってきました。チケットもぎりも、靴係も、30分前にはピークになってきました。「すごい」「やった〜」「うれしい」

二ヶ月前に実行委員の依頼を受けたものの「こぶし座みにきて下さい」「こぶし座ってなあに」と聞かれ「伝統芸能で函館からきます。是非チケット購入お願いします。ポスターも貼らせて頂きたいのですが…」こんなもんじや全く説明になっていません!! うまく説明できないながらも、たくさんの人達に購入して頂きました。実行委員の半数は、イベントのチケット売りは初めての人達(私も含めて)でした。よくぞ、ここまで売れたも



川湯小学校教頭&??年前の卒業生

んだ!!頑張った自分たちにも拍手です。

*

弟子屈町にも弟子屈文化協会があり、アイヌ文化保存会、鑑別獅子舞、摩周蝦夷太鼓等々さまざまな伝統文化があります。そのうちの一つを紹介いたします。

弟子屈町から20km程の所に、川湯温泉があります。千二百人程の地域で、小学校全児童が40名、中学校は15名の小さな学校ですが、「川湯ばやし保存会」を45年間保存してきており、川湯小、中、成人合わせて60名程の会員がおります。年間20回程、弟子屈町内のイベントにひっぱりだこの保存会です。小学校に入学してから「川湯ばやし」を始め、中学、高校と何年もの間、何人もの子ども達が伝統芸能を継承しています。その川湯ばやしの小学生20名が、当日、一番前に座り、クスクス、ウフフ、ア

ハハ、キヤ、ウオーと…。それにつられ、後ろにいる大人達もつられて一緒に笑い、会場がひとつになっていました。

*

後日、川湯小学校にお菓子を差し入れに行きましたところ、公演の次の日は、一日中、交流の真似、獅子に頭をかじられた事、笑いが絶えなかったそうです。又、こぶし座の団員さん達もすばらしく、会場の声にも答えて頂きました。一つ一つがプロの動き。見ていて楽しく、心があつたかくなる公演でした。そして、少ない人数ですが、皆さん一人一人の仲間意識も感じとる事ができました。

道具の荷おろし、手作りの舞台装置、お疲れ様でした。そして、すばらしい伝統芸能を保存・普及していける事を願います。

感動の一日をありがとうございます



公演後…。「この笑顔がたまらない!!」

四年前から実施されている、函館市のアウトリーチ事業。開催校(担当分)も年々増え、今年度は、小学校6校・中学校2校で太鼓指導を行いました。

その中のひとつ、継続開催している旭岡小学校の担当・森田先生に、開催時の様子などを寄せて頂きましたので紹介します。

アウトリーチ事業

「和太鼓」の講座で

子どもは夢中に！

旭岡小学校

教諭・森田弘子

函館市内の児童・生徒が文化芸術に触れることができる機会をもてるよう、様々なジャンルの第一人者を派遣して下さる「文化芸術アウトリーチ事業」の一環として、本校ではこぶし座さんをお招きし、4年生を対象として和太鼓の講座を開いていただいています。今年で3回目ですが、大きな宮太鼓も3人1組交代で贅沢に使えますので、あつという間に和太鼓の魅力に引き込まれ、毎年大好評です。

超初心者の子どもたちです。はじめは簡単なリズム打ちでたたき方の基本姿勢を覚えさせます。少しずつリズムが難しくなってくるのですが、コツをつかんでテンションもどんどん上がってきました。最後には篠笛も交えて一曲が完成する仕組みになっていた



開催校のひとつ
市立西中学校の様子

子どもたちは、「祭りのたいていをたたいている人の気分になった。」「日本の文化にふれて楽しかった。」「ふだん、和太鼓をたたく機会がないのでうれしかった。しかも、ノリにのっておどれたので楽しかった。」という言葉がたくさんあり、満足気でした。

1時間という限られた時間ではありますが、思い切り太鼓の音を響かせ、普段、学校の学習ではかなわない内容を十分に堪能することができて大変よい機会となっております。

※開催校の児童たちからの 感想アンケートより

《2年生》

・わたしは、わだいをやって「大きな音だな。」と、びっくりしました。とても大きな音なので、頭にひびきました。わたしは、「なんかなつかしいな。」と、思いました。

・わだいをたたいたとき手がちよつとふるえました。でも、リズムよくできてよかったです。どんどんはやくなっておもしろかったです。つぎに、しのぶえとあわせてやりました。しのぶえの音がきれいでした。

《4年生》

・ぼくは、こぶし座さんが来る日に休まなくて良かったと思えました。和だいを、たたかせていただいて、ぼくは、しあわせです。ありがとうございます。

・今日は、わだいの面白さをわかりました。すごく面白くて週に1回か2回あつていいと思えました。いままでのじゅぎょうで一番面白かったです。



こぶし座に寄せる

四、五年サイクルで呼んで下さる北見市立の保育園。昨年も11月25日と26日の二日間、全13園の子ども達に元氣いっぱい楽しんでもらいました。

保育園側の窓口となっております、森田園長に寄稿いただきましたので紹介します。

「こぶし座」を

観劇と呼んで

北見市立小泉保育園
園長・森田由美子

に在職中、年長の卒園を祝う会に父母と共に練習し発表させていただきました。

*

北見市立保育園ではこれまで、保育士有志が日本の文化を子ども達に伝えたいと、太鼓や荒馬、民舞の取り組みを行い、運動会や生活発表会に披露してきた歴史があります。しかし、その取り組みを行ってきた保育士が定年を迎え、中堅職員が少ないことから、次に引き継いでいく為には、ここ2、3年採用になった若い保育士に感動として伝える必要がでてきています。その

さて今年、5年ぶりに北見市立保育園の観劇に「こぶし座」を呼ぶことができました。こぶし座さんとは、私が太鼓サークルで活動していた時に出会い「もちつきばやし」を手取り足取り教えていただいたのが始まりです。この「もちつきばやし」は、南保育園



「たのしいネー」…元氣な年長さん



お獅子、怖くないヨ～。
はーい！ボクも嗜んでー！

今回の公演で、「子ども達に日本の伝統芸能を伝えたい」という思いが、少し伝えられたのかなと感じ「こぶし座」さんには、改めて感謝の思いで一杯です。今後も引き続きいける事を模索していきたいと思えます。





【清水町御影 12月7日】手遊び交流、大盛況!!



【森町 11月18日】親子です!



【今金町 11月21日】
明るい二人。詳細不明…!?

《手遊び交流》
一般公演では、観客を舞台上に招き
会場と一体になつての交流です。
(明るく楽しく温か〜い時が流れます)



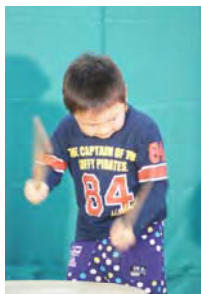
【標茶町 12月3日】
写真は前日の施設訪問

旅のスケッチ = 公演編 =

力強い支援と
素敵な笑顔に包まれて…



【北斗市 10月6日】
ヨッ!!(両人…!)



未来の!?「太鼓打ち」
…こぶし座は、君たち
の未来に期待します。



【北見市立保育園公演】
11月25,26日



【美瑛町公演 11月30日】
“オクヤマシゲル氏”「自称:以外座員」
照明家・演出家・舞台監督 etc.& 友達!?
…特設操作卓で仕込み中(横ヨットで)だね!!



白金太鼓メンバー有志の
熱の入った手遊び交流…若い!!



公演を盛りあげてくれた「白金太鼓」



公演後の“送り出し”で…。
「ホントに私でいいんですか〜」!?

伝言板

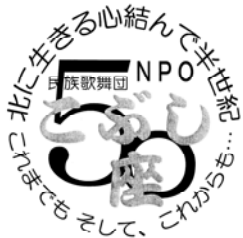
◇澤谷さん「お米」再び!!

昨年もち植えの体験…。
公演巡業中に、お世話にな
っている農業者の澤谷さんか
ら本部に電話がありました。
「演技者たちが帰ってきたら
連絡を…」との事(!?)。
何って、また仰天!

お手伝いにはほど遠い、私
たちの田植え作業…。けれど
今年もどっさり、重い米袋。
愛情たっぷりの美味し〜い
お米、感謝しながら「いただ
きまーす!」

◇お知らせ

次号(142号)は、創立50周年
の特別号として「記念公演」
等について特集します。
発行日は6月の予定です。



【創立50周年ロゴマーク】

こぶし座では、次年度向けの
公演企画書や各自の名刺などに
使用しています。

【一〜三月の公演】

《保育園・幼稚園公演》

1/14 函館・つくしの保育園

15 函館・青い鳥保育園

16 函館・つぐみ保育園

2/5 函館・神山保育園

6 八雲・国の子保育園

10 札幌・柏葉保育園

12 札幌・北の星白石保

12 札幌・菊水上町保育園

13 札幌・せいかん保育園

13 札幌・桑園保育所

《特別公演》

1/2(金)棒二森屋

2(金)ポールスター

31(土)札幌北・石狩健康

友の会20th祝賀会

《一般公演》

3/4 水 釧路市

5(木) 釧路市

15(日) 砂川市

※右記のほか、三月に
札幌市白石区の公演を
計画しています。

詳細は本部事務局まで

座員・松岡智恵美のご母堂
松岡芳さんが、十月二六
日に逝去されました。
生前のご厚情に感謝し、
社員一同心からご冥福を
お祈りいたします。